

5-5

デイサービスにおけるユニット化への取り組み

～豊富な機能訓練とアクティビティを提供し、オンリーワンへ～

ユニット化

質の向上

社会福祉法人うららデイサービスセンターみずべの苑

責任者：樋口 直樹

サブリーダー：橋本 三保子

東京都北区志茂 3-6-13

TEL：03-3598-0130

E-mail dayserv@Ma.Kitanet.Ne.Jp

FAX：03-3598-0187

URL <http://www.urara.or.jp/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

社会福祉法人うららが母体であるみずべの苑は、平成13年4月に開設。特養、ショートステイ、デイサービス（一般65名＋認知20名）、在宅介護支援センター、訪問介護、居宅介護支援事業所を併設する高齢者総合福祉施設です。

〈取り組んだ課題〉

当センターは昨年4月の段階で一般型65名、認知症型10名の併設型デイサービスで1日御利用者が合わせて55名が来苑される大規模施設であった。ご利用者の数が増えてくるにつれ、事故の発生や活動内容にバラつきが出、また入浴のニーズはあるものの対応出来ないといった問題も起きていた。登録利用者220人に対し、職員が広く浅く理解する状況となる問題が生じた。職員からも、ニーズを把握することも出来ない状況にあきらめや不満、戸惑いが多く見られ、安定した運営と質の高いサービスの確保のためにこの問題を解決し、サービスに繋がればと考えた。ユニットケアの考えに基づきグループ化の取り組みを行ったところ、著しい改善が見られ現在に至っている。

〈具体的な取り組み〉

- ① デイサービスのご利用者の3グループへの区分け(小単位化)と活動スペースの確保～ユニット分け～
 - ・ 活動スペース拡張及びトイレの増設工事の実施
 - ・ デイサービスのご利用者を《予防グループ》《虚弱グループ》《認知グループ》の3つにグループ分けを行う。
 - ・ それぞれ固定化したご利用者を的確に、そして深くご利用者のニーズを把握し、応えられる体制を作る。
 - ・ 介護保険の改正やアクティビティの増加、事故やエスケープの減少に繋がった。
- ② 職員配置の再編成と組織活動の強化
 - ・ グループ毎にグループリーダーを配置し、職員もそれぞれ担当制にしてご利用者のニーズの把握や安心感に繋がれ顔なじみの関係を作る。

③入浴実施者の増加とマンツーマン入浴

- ・ マンツーマン入浴の実施
- ・ 同姓介助に配慮する。
- ・ 入浴者の増加へ繋がった。20～25名→30～35名へ
- ・ 入浴設備の増設(ヒノキ浴槽、簡易リフトの増設)

④機能訓練サービスの見直しと予防サービスへの取り組み

- ・ 集団、個別機能訓練、言語訓練(集団、個別)、CGT(包括的高齢者運動トレーニング)、貯筋体操、口腔体操の役割の明確化
- ・ 計画と評価及びPT、ST、マッサージ師、健康運動指導士などの専門職の位置づけを明確にして連携を深めた。

〈活動の成果と評価〉

- ・ 各グループ毎にAM、PMともにアクティビティをそれぞれ準備し、ご利用者はそれぞれ参加したいものを選び、選択肢の増加に繋がった
- ・ 利用者を小単位化することで特性(ADL状況等)やニーズの把握に繋がりが多様な機能訓練の提供に繋がった。
- ・ 特性やニーズを把握することにより、事故(骨折等の傷害事故)エスケープがゼロになった。
- ・ 利用者の満足度が向上し、利用者が増加した。
年間稼働率は1日平均52.4→54.1人へ
- ・ 個別対応により、認知登録を増やす事が出来、問題行動に対応できる体制を作った。
- ・ ボランティア参加率が増え、月平均23件来苑された。

〈今後の課題〉

- ・ 介護保険制度改正に伴う体制作り(平均利用延べ人数、介護予防サービスの創設など)
- ・ 専門職とケアワーカーの情報の共有について